

平成16年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査

1 実施の概要

(1) 目的

- ① 児童生徒一人一人の学習状況及び学習に対する意識等を把握し、一人一人の学力が確実に向上するよう指導改善を図る。
- ② 学力向上を図る県教育委員会の施策等の改善に生かす。

(2) 対象及び実施状況

- ・ 県内の公立・私立・国立すべての小・中学校を対象（盲・聾・養護学校の小学部、中学部に在籍し、小学校、中学校に準ずる教育課程で学習している児童生徒を含む）

① ペーパーテスト

- 小学校（第5学年、第6学年）：国語、社会、算数、理科
 - ・ 実施学校数：387校（98%）
 - 実施児童数：第5学年 19,966人
第6学年 20,211人
- 中学校（第1学年、第2学年）：国語、社会、数学、理科、英語
 - ・ 実施学校数：194校（95%）
 - 実施生徒数：第1学年 18,816人
第2学年 19,494人

② 質問紙調査

- 小学校（第5学年、第6学年）、中学校（第1学年、第2学年）：学習に関する意識等について
 - ・ ペーパーテスト実施児童生徒から、無作為に抽出

(3) 実施期日等

- 平成17年1月12日（水）～1月19日（水）までの期間
（各学校において日程及び実施時刻を定めて実施）

(4) 調査問題の内容・範囲及び実施方法等

- ① 調査範囲：調査対象学年において学習した内容
- ② 出題内容：各教科とも学習指導要領に示された目標及び内容を踏まえ、昨年度調査で課題として明らかになった点を考慮しながら、内容や分野に偏りがないよう幅広く出題
- ③ 実施方法：ペーパーテスト（学習指導要領に示されている内容のうち、ペーパーテストで調査実施が適当なものについて）
質問紙調査（学習に関連する意識・意欲・理解の程度等や学習への取組状況などについて）
- ④ 個々の児童生徒の学習改善：実施後、「学習状況診断票」「個人カルテ」を個々の児童生徒に配付し、自己診断と今後の学習改善に活用

(5) 調査分析の方法

- ① ペーパーテスト
 - ・ 設問ごとの県全体の正答率を基に結果を分析し、指導改善の方向を明らかにした。
 - ・ 全調査の中から、無作為に解答例を抽出し、結果分析の参考とした。
- ② 質問紙調査
 - ・ 設問ごとの県全体の回答状況を基に結果を分析し、学習に関する意識等の傾向と今後の改善の方向を明らかにした。